

私のひとこと まちかどインタビュー

「住民の方との対話」を目的に、まちかどインタビューを掲載しています。

お年寄りの気持ちがわかるような、人間になりたい



嶋崎貞子さん -左- (立沢広原)

○ 議会を傍聴されていかがでしたか？

役場玄関に入ったから、会場場案内板に議会日程が載っていませんでした。役場玄関に入った方が今日は議会が開いている、どんな議事が進められているか、わかるような情報提供の場を作っていたら、傍聴される方も増えるのではないのでしょうか。

一般質問での議員への回答は、その議員を支持された、多くの町民への回答であってほしいと思います。議員の発

言を抑制するのではなく、真摯な態度を希望します。

○ 町政に何を望みますか？

お年寄りを大切にすするまちづくりを望みます。信州は高齢者にやさしい地域医療の定着した県として喜んでいきます。しかし来年4月から実施される「後期高齢者医療制度」について、元厚生省局長、大坂大学教授の堤修三氏が「姥捨て山」と批判したことを知り、制度の内容を詳しく知りたいと思いました。

○ 今やっていることは？

ボランティアに少し参加しています。わたしも遠くない時期に年寄りになる身です。お年寄りの気持ちがわかりあえる仲間になりたいと思います。

今日はこのように「宅幼老所ひなたぼっこ」でお年寄りと一緒に料理を手伝っています。



「宅幼老所ひなたぼっこ」で料理を手伝う嶋崎さん

ここで楽しくお茶を飲み、習い始めたコカリナを吹いて、みんなで歌う、ちよっぴり生きがいを感じています。

さらに多機能型施設「夢屋ほっと」で、パッチワークや裂き織布で作品を作るお手伝いもしています。

秋の文化祭には皆でつないだ大きな作品を展示します。

もっともっとお年寄りのために役に立ちたいと、ヘルパー講習にも挑戦しているそうです。

編集後記

こんなに暑い夏があったら、突如寒さがやって来た。急速に進む温暖化・異常気象に、将来を担う子供達のことを思うと胸が痛くなる。

先日、ある講演会で、スエーデンでは、最も優先される政策目標として『環境の質』を国会承認決議されていると聞いた。それはどんな条例を作る時にも優先される基本となる理念だ。

環境は人類が生き残れるかどうかの逼迫した問題で、何よりも優先されるべき課題ではないだろうか。

富士見町の課題に対する各人の捕らえ方はさまざまであるが、現在の私たちの決断が、富士見町の将来を決めることの重さを感じる。

(エンジェル千代子)

■議会広報編集委員会

編集委員長 小林 光

副委員長 名取 武一

委員 エンジェル千代子

織田 昭雄

ふじみ議会だよりは、議会ホームページにも掲載されています。